寄贈品コーナー展示

相模川流域の化石展

2018年

会期：6月16日（土）～7月11日（水）

過去の生物の痕跡である化石は、過去の地球における様々な情報を語る重要な証拠です。相模川流域に分布する、およそ 3500 万年前以降の地層から見つかった様々な化石からは、流域の大地の成り立ちを読み取っていくことができます。

今回の寄贈品コーナー展示では、平塚、大磯、二宮、愛川町など、相模川流域とその周辺から産出したナウマンゾウやクジラ、魚類、貝類などの様々な化石を展示します。これらの生物が生きていた当時の相模川流域はどのような姿だったのかを、化石から読み解いていきましょう。

↑平塚で産出した約 8-9 万年前のナウマンゾウの下顎化石